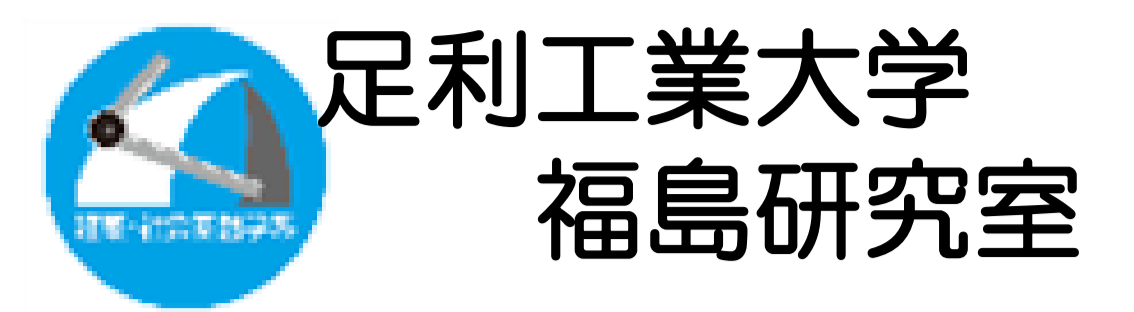


# 未公開発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』の解明に向けた調査と分析 ～足利工業大学&烏山高等学校共同研究の成果～

## 唱歌が作られた昭和5年当時の風光復元スケッチ



『烏寶線鉄道唱歌』の解明に向けて、20番までの歌詞で構成されている原文の不明部分の解明・復元終了後、“読み下し文”の作成を行った。下表に、復元した“歌詞の原文”とその“読み下し文”の一例を示す。この表から言えることは、原文は七五調で格調高く、昭和初期の毅然とした空気が流れていることが感受される。また、理解を深めるため作成した“読み下し文”を基に、詠まれた風物を追いかけてみると、唱歌が作られたとされる昭和5年当時の赫灼とした風景が浮かび上がってくる。そこには、交通基盤・生活基盤の近代化という地域開発に邁進する取組み成果と、自然への讃歌がこだまする豊饒な世界の広がりが見られる。ここでは、『烏寶線鉄道唱歌』の分析から得られた昭和初期における当該地域の風光を、いくつかスケッチで復元した。

	歌詞原文	読み下した歌詞の内容
4	麦の緑のそが中に 黄金歎く花ありて 言はずとかる春の香に 思はず胸の躍るなり	麦畑が広がる畑地の中に、黄金のように輝く菜の花の群れが広がっている。その芳香に思わず胸も躍るようだ。
5	瀑音高く緑陰に 響くはこれぞ名にし負ふ 瀧の名所と相待ちて 観音堂のあるところ	緑陰に高く響き渡る荒々しい瀑音は、名所として名高い龍門の瀧。道を隔てた太平寺は、千手観音菩薩を祀る。
7	汽笛一聲トンネルに 我等が汽車は入りにけり 此處難工の一ところ 延長實に三町餘	汽車は汽笛とともに森田トンネルに入っていく。このトンネルの建設は難工事として知られ、その延長は350m余り。
8	森田に聞こゑし発電所 小埜をすぎて荒川の 流れにわたす鐵橋に かゝれば音のかまびすし	有名な森田発電所を眺め、小埜駅を過ぎるとまもなく荒川に架かる荒川橋梁。鉄橋を渡る車輪の音も高く響く。
12	田の倉校や安楽寺 窓下に青き荒川を 再び右にながめつゝ すぐれば変る峯の松	荒川の清流を再び右に眺めながら、田野倉校（現荒川小学校）や安楽寺を過ぎると、喜連川町界の一本松がある。
18	廣袤幾里灌漑の 水路蜘蛛手に分れつゝ さすがは廣き水田に 耕すものはこゝかしこ	蜘蛛が糸を張り廻らしたように、縦横に灌漑用水路が広がる。広い水田には、そこかしこに農夫の姿が見える。
19	花岡校や地藏寺を すぎて石末寶積寺 猪湖送電の架空線 鐵槽ならべる一奇觀	花岡校（現中央小学校）や地藏寺を過ぎ石末や寶積寺。猪苗代湖からの送電線槽が屹立する様は稀に見る景観。



### ＜唱歌4番：麦の緑と黄金歎く花＞

- 歌詞の順番の配置から、那須烏山市野上周辺と思われる。
- 車窓からは、烏山一滝駅間で見られる。
- 緑なす麦畑の豊饒な広がりの中、黄金色が眩い菜の花の一群れ。
- 昭和後期の開発事業により、現在このような景観は失われた。



### ＜唱歌8番：森田にきこゑし発電所＞

- 那須烏山市森田の荒川河畔。
- 車窓からは、小埜一大金駅間で見られる。
- 荒川電気(株)により大正11年に開業した発電所。
- 昭和26年に電力再編により東京電力に統合、昭和46年に廃止。
- 昭和52年に旧南那須町が所有後、平成14年に地元実業家が購入し平成24年までレストランとして営業。



### ＜唱歌8番：荒川の流れにわたす鐵橋＞

- 字森田の荒川に架かる。
- 車窓からは、小埜一大金駅間で見られる。
- 大正12年に架設され“小埜の鉄橋”と呼ばれた。
- 初代の構造形式は、“ボーストリングトラス”の下路橋と思われる。橋長は66mで、整層切石積みの橋脚が壮麗である。
- 昭和29年に、現在のプレートガーダー(2連)に架け替えられた。

### ＜唱歌18番：廣袤幾里灌漑の水路＞

- 高根沢町一帯の広大な水田地帯を縦横に走る水路網。
- 車窓からは、鴻野山一宝積寺駅間で見られる。
- 高根沢町の田畑を潤す。市の堀用水、井沼川、冷子川、大沼川、五行川、新堀用水、草川用水、釜ヶ淵用水、鷺ノ谷用水などがある。
- 明治30年代後半から大正期にかけて盛んに実施された耕地整理事業の進展を支え、現在も地域産業の基盤になっている。

### ＜唱歌19番：猪湖送電の架空線 鐵槽ならべる＞

- 高根沢町一帯の送電線の槽群。猪苗代幹線。
- 下野花岡一宝積寺駅間で見られる。
- 東京圏への長距離送電を目的として、大正初期に鉄塔が建設された。後に旧幹線と呼ばれるこの架空線網により、猪苗代から東京田端まで227kmを当初115kVで送っていた。
- 鉄塔はアメリカンブリッジ社製のもの。
- 今では見慣れた何気ない風景も、当時は驚きと自負の念があったものと感受される。

